

平成30年度 運輸安全マネジメント(輸送の安全に係る事項) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年4月1日



遠軽通運株式会社
代表取締役 荒木 克久

遠軽通運(株)本社営業所
北海道紋別郡遠軽町学田2丁目9番地1

(輸送の安全に関する基本的な方針)

<社内スローガン>

遠軽通運株式会社は、安心・安全な輸送を図るため、全役職員が無事故を心がけ、お客様、そして地域社会に貢献することを誓います。

・輸送の安全に関する基本的な方針を次の通り策定する。

1. 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを認識し、社員に対しても安全の確保が最も重要であることを意識させ、社内においては輸送の安全確保に対し、主導的な役割を果たすものとする。
2. 全社員が一丸となり社内スローガンを基に、輸送の安全性の向上に努め、業務を遂行する。
3. 輸送の安全に関する情報については、積極的に公表をする。

(輸送の安全に関する目標)

・基本的な方針に基づき、次の通り平成30年度の目標を策定する。

1. 人身事故ゼロ。
2. 有責対物事故ゼロ
3. 自損事故の半減
4. 積荷の破損事故ゼロ

(輸送の安全に関する計画)

・輸送の安全を確保し、上記の目標を達成するために次の計画を作成する。

1. 事故防止対策委員会の積極的な運用。
2. 社内独自の安全月間(期間)を設定し、交通安全・輸送の安全に関する啓蒙に取り組む。
3. 会社構内において死角・接触に関し、車両を使用した実地訓練・検証を実施する。
4. ヒヤリハット投函箱の有効活用(ヒヤリハット事例の公開・検討・活用)。
5. 定期安全大会と部門毎の安全会議(QC活動)を有効的な適期に完全実施する。
6. 運行管理者及び運転者の輸送の安全に係る外部研修等への積極的な派遣。
7. アルコール濃度ゼロ以外の乗務禁止。
8. 適性診断の定期受診と診断結果によるカウンセリング(安全態度等の重点化)
9. 運行管理者の適性診断活用講座の受講。
10. 無事故表彰の実施と日常的な班内事故防止検討会の実施。
11. 輸送の安全に関する投資額を 2,000,000円とする。

(輸送の安全に関する情報交換)

1. ヒヤリハット事例の有効活用。
2. 対面点呼時における情報のくみ上げ、伝達、共有。
3. 部門別安全会議等での情報の交換。
4. 適性診断活用講座受講者による適性診断結果の積極的活用及び指導。
5. 外部会議、研修等からの情報の伝達、共有。

(事故に関する統計)

・平成29年度交通事故実績

総数			対人身			有責対物事故			自損・無責対物		
件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
11	0	0	0	0	0	2	0	0	7	0	0

* 交通事故総数8件の内、3件は無責事故となっている。

・平成29年度輸送の安全に関する目標の達成状況

1. 前年目標① 人身事故ゼロ
(結果) 人身事故の発生は0件であり、目標を達成した。
2. 前年目標② 有責対物事故の半減
(結果) 事故の総数としては無責事故を4件を含め、平成28年度の9件から11件。目標とした有責対物事故の半減については、平成28年度の発生件数4件に対し、平成29年度は2件と目標の半減は達成した。
3. 前年目標③ 逆突事故ゼロ。
(結果) 逆突事故の発生はなく目標は達成できたが、構築物への接触等による自損事故が4件発生している。
4. 前年目標④ 労働災害ゼロ
(結果) 2件の労働災害事案が発生し、目標は達成できなかった。

・自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

平成29年度において、自動車事故報告規則第2条に規定する事故の発生はなかった。

(基本的な方針、目標及び目標の達成状況、事故に関する統計の公表)

運転者に対しては、本社営業所内、一般に対してはホームページ (<http://www.en-tsu.co.jp>) 及び構内屋外掲示板において公表する。